

令和8年度 いのちの教育全体構想図

鶴岡市立藤島小

藤島小学校教育目標



自分の思いを語り、共に高まり合う子どもの育成

めざす子ども像
＜藤島地域小中一貫教育＞

自分から、ねばり強く学ぶ子ども(知)
心と体を鍛え、しなやかさを持つ子ども(体)

相手の気持ちを考える、思いやりのある子ども(徳)
ふるさと藤島の良さを知り、誇りを持つ子ども(地域)

経営方針

一人ひとりが大切にされ、温かくつながり合う、「共に高まり合う学校」を創る

山形県教育目標

＜第7次山形県教育振興計画＞
ウェルビーイングを目指し、
多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う
山形の人づくり

自尊感情
個性尊重
他者理解
ふるさと

鶴岡市のめざす教育

教育目標 「ふるさと鶴岡を愛し鶴岡の未来をひらく、いのち輝く人づくり」【令和6年度変更】
いのち輝く市民が躍動する環境づくり

教育方針
1 逞しさ・優しさ・賢さを育む学校教育の推進
2 市民の多様な学習環境づくりの推進
3 豊かな感性を育む文化芸術の振興
4 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進
5 教育関係施設の適切な維持管理と最適な配置の推進

授業の充実が最優先

*働き方改革の視点
*地域との協働教育

「いのちの教育」を通して「育てたい子どもの姿」

※ 自分のいのちをかけがえのない大切なものに思う(自尊感情)
※ 自分のいのちと同じように他の人のいのちを大切に思う(個性尊重、人権教育)

授業を通して心を育てる
「おもいやり」・「かかわり方」

○研究主題「自分の考えや思いを語り、共に高め合う」
→ よく考え、思いやりの心をもち、たくましく学び合う。
・活用型学習活動による思考力・判断力・表現力の育成
・確かな力を身につけ、人とかかわり合う力を育てる授業
・個に応じたユニバーサルデザインを取り入れた授業
・QUTテストやICTの活用を図った授業
*カリキュラム・マネジメントを取り入れた単元構成
→ ○共に学ぶ喜びを感じさせる授業づくり
○主体的に学ぶきっかけをつくるしなやかづくり
○各教科で学んだ見方や考え方を活かして
更に 高い課題や解決につなげさせる授業
づくり

思いや学びをつなぐ
道徳の授業づくり

「共に語り、ともに考え
共によりよく生きる 子どもの育成」

○かかわり合う中で共に学ぶよさを実感する子ども
教師自らが児童と共に考え、悩み、感動を共有し
ながら学んでいく姿勢
自分の思いを表現し合うこととかかわり合い、相手の
よさに気づき、受け入れる子ども
○共に高まり合う子ども
かかわり合い、相互に働きかけながら、よりよく生き
ようとし集団や社会で自分のよさを生かす子ども

児童による校風づくり

○自分達の生活を振り返り問題を
解決するための児童会活動の充実
→ *「すずかけ運動」を中心においた
思いやりあふれる学校づくり
→ 「すずかけ運動」に年間、
全校で取り組む。
・ボランティア活動の一環として
「すずかけ訪問」を実施する。
・公共の場や道路等の落ち葉拾い
「すずかけ清掃」を、実施し地域に
広げる。

一人ひとりを大切にする
特別支援教育

○特別支援学級経営の共通理解
・児童、保護者にも理解され、個に
応じたきめ細かな支援の充実
○全校の支援対象児童への組織対応
・学校・保護者・専門機関との連携
・日々の児童の発容についての
記録の集積と、支援改善策の共通
理解による学校体制での支援
○支援体制の工夫により、きめ細やか
な支援を進める。
○鶴岡市特別支援教育計画による
巡回相談の活用

心を育むふるさと学習

○体験活動を通して自ら課題を見つけ
解決する力を高め、自己の生き方
に生かす。
○体験活動を通してふるさと鶴岡・藤島
を愛する心を育てる。
■論語素読、スキー学習
致道博物館見学、長沼・八栄島地区見学
○福祉施設訪問等を通していろいろな生き
方や考え方にふれ、豊かな心を育てる
■藤の花施設訪問、幼稚園保育園交流、グ
ラウンドゴルフ交流、長沼・八栄島地区訪問学
習

いのちを育てる
飼育栽培活動

○栽培活動
・1、2年一人一鉢栽培
・3年ねぎ・里芋栽培
(地域の高校との連携)
・4年大豆栽培
収穫の喜びと食への感謝
(畑の先生・地域連携)
・5年稲作実習田活動
(地域の方・PTA・JA)
○飼育活動
・教科学習内容に応じた
飼育活動

藤島小の教師像

- (1) 子ども一人一人と向き合い、寄り添い、誉め、温かい言葉で励まし、共に課題を解決する。
- (2) 学級経営の中核を日々の授業におき、授業により学校教育目標を具現する。
- (3) 子どもを伸ばすための支援方法を学び合い、組織で支え合う教師集団をめざす。
- (4) 保護者・地域・藤島ブロック各小・中学校の職員と連携・協働する。
- (5) 教育公務員及び組織の一員としての使命と責任を自覚し、全員が学校運営に参画する。

「藤島小の子ども」＝「すずかけの心」を持ち「すずかけ運動」を創りあげる 児童・職員・保護者・地域との協働活動

「共育」活動を支える 家庭(PTA)・地域・外部団体

- | | | | | | | |
|-------------|-----------------------|----------|-----------|-----------|-----------|--------------|
| ○ 藤島小PTA | ○ 藤島、八栄島、長沼地区地域活動センター | ○ 校友会 | ○ 水士里ネット | ○ 藤島庁舎 | ○ 藤島長沼駐在所 | ○ サンサン畑の会 |
| ○ 読み聞かせサークル | ○ 見守り隊 | ○ 実習田の先生 | ○ JA庄内たがわ | ○ 藤島地区各施設 | ○ 民生児童委員会 | ○ 藤島ライオンズクラブ |
| ○ スポサ指導者 | ○ スキー教室の先生 | ○ 畑の先生 | ○ 書道の先生 | ○ 幼保中高 | ○ クラブの先生 | ○ 藤島エコタウン室 |



食に関する指導

【食に関する指導の目標】

○自分の健康に関心を持ち、食事の重要性が分かる。(健康)
○自分に必要な食量と食品の選択ができ、継続して行う力がある。(食品を選択する能力)
○食事を支える方々の思いを知ることによって主体的にマナーを身につけたり、好き嫌いをしないで食べる。(感謝の心・社会性)
○地域の産業や食文化を知ることによって郷土に誇りを持つ。(郷土)

【食に関する指導の重点目標】

- (1) 栄養バランスの取れた食習慣を身につけ、心も体も健やかな子どもを育てる。
- (2) 正しい食事マナーで、周りの人と気持ちよく食事ができる子どもを育てる。
- (3) 地元の農産物や食文化を知り、食を支える人々や郷土を大切に思うことができる子どもを育てる。